

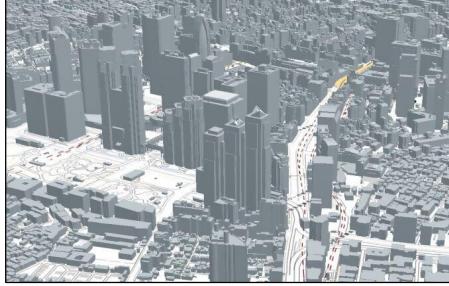
## 令和7年度いみず学生アイデアコンテスト 課題一覧

### ①地域課題枠

No.	課題	課題の概要	関係機関、関係者等	担当課	連絡先(電話番号)	連絡先(mail)
1	小杉駅周辺地区の賑わい創出について	<p><b>【現状】</b> 本市の陸の玄関口である「あいの風とやま鉄道小杉駅」の周辺地区は高等学校や高等教育機関が立地し、通学経路として多くの学生に利用されていますが、駅を通学のみに利用する学生が多く、以下の課題を抱えています。</p> <p><b>【課題】</b>            ・駅周辺に学生が集う場所や若者世代向けのイベントが少ない            ・学生と地域のつながりや、学生と多世代との交流が乏しい              このような現状と課題を調査・分析した上で、若者世代と地域との交流を促す企画やイベントを提案してください。(イベント提案の場合は、活用可能な場所の調査・検討と含めて提案してください。)</p> <p><b>【参考：過去の提案（実証実験）】</b>            ・公共空間を活用した古本市の開催（R5）            ・駅周辺のお店紹介スタンプラリー（R6）  <a href="https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=38435">https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=38435</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興会</li> <li>・小杉まちづくり協議会</li> <li>・旧北陸道こすぎ商店街</li> <li>・都市計画課（駅周辺まちづくり推進班）</li> </ul>	政策推進課 企画調整係	0766-51-6612	<a href="mailto:seisaku@city.imizu.lg.jp">seisaku@city.imizu.lg.jp</a>
2	日本人と外国人とが交流する機会の創出について	<p>本市は、人口に占める外国人の割合が県内で最も高く、今後も増加することが見込まれることから、日本人と外国人が互いの文化や価値観の違いを認め合い、地域の一員として共に暮らしやすい地域づくりを進めていく必要があると考えています。</p> <p>多文化共生に関する講演会や多文化交流イベント「LINK PARK」、地域住民同士の交流を図る「多文化共生まちづくり交流会」などを開催していますが、さらなる交流を深めていくことが求められています。</p> <p>本市における外国人が抱える問題を調査・分析した上で、その解決につながる一つとして、多くの日本人と外国人とが集まり、互いに交流を図ることができる（文化発表や講演などの一方的なものではなく、話をしたり、一緒に何かをする等）イベント等の内容について企画・提案してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市民国際交流協会</li> <li>・まちづくりネットワーク（LINK PARK主催者）</li> </ul>	市民活躍・文化課 交流促進係	0766-51-6622	<a href="mailto:shiminbunka@city.imizu.lg.jp">shiminbunka@city.imizu.lg.jp</a>
3	若い世代（20代・30代）が気軽に出会いう機会の創出について	<p>市では、少子化対策の一つとして、結婚を希望する方々に出会いの場を提供するため、射水市婚活サポートーズクラブを設置し、婚活イベント等の開催など結婚支援に取り組んでいます。</p> <p>しかし、婚活となると少しハードルが高くて参加しづらいという声もあることから、結婚を意識していない若い層へのアプローチを行い、結婚に限らず、気軽に出会いの機会を創出することも必要であると考えています。</p> <p>若者の結婚に対する意識など現状を調査・分析した上で、多くの若者が集まり、自然に出会いえる、参加したくなるイベントの開催について企画・提案してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市婚活サポートーズクラブ</li> </ul>	市民活躍・文化課 交流促進係	0766-51-6622	<a href="mailto:shiminbunka@city.imizu.lg.jp">shiminbunka@city.imizu.lg.jp</a>

## 令和7年度いみず学生アイデアコンテスト 課題一覧

### ①地域課題枠

No.	課題	課題の概要	関係機関、関係者等	担当課	連絡先(電話番号)	連絡先(mail)
4	マイボトル運動の推進について	<p>《アルミ製マイボトルイメージ》</p>  <p><b>【現状】</b> ペットボトルは、軽くて持ち運びにも便利である反面、製造、運搬、販売、リサイクルの過程において多くの資源とエネルギーを使い二酸化炭素を排出しており、地球温暖化へ影響を与えています。また、海に流れたプラスチックごみが引き起こす海洋問題も発生しています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイボトルに給水できる場所が少ない</li> <li>・小中学生は学校に自動販売機がないため、水筒を持参しているが、若者はペットボトル飲料をすぐに買えるため持参率が低い</li> </ul> <p>令和7年度から市内6箇所の公共施設において水道直結型の無料のウォーターサーバーの設置や、市制20周年記念ボトルの作成を予定しています。プラスチックごみ削減とライフスタイル変革の機会とし、マイボトル運動を推進するための企画や取組を提案してください。</p> <p><b>【参考:例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイボトル運動PR動画作成</li> <li>・SNSを活用したマイボトル運動</li> <li>・持参したマイボトルへ飲料を提供してくれる飲食店の開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内飲食店等（スターバックス、ドトール、タリーズ等）</li> </ul>	環境課 ゼロカーボン推進係	0766-51-6624	<a href="mailto:kankyou@city.imizu.lg.jp">kankyou@city.imizu.lg.jp</a>
5	高齢者宅における除雪支援について	<p>◆◆◆◆◆ ひとり暮らし高齢者等除雪助成金 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などで、屋根の雪下ろしや、家の周囲の除雪にかかった経費の一部を助成します</p> <p>★対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● おおむね65歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者</li> <li>● 高齢者のみの世帯</li> <li>● 高齢者のみと小学生以下の子供の世帯</li> <li>● ひとり暮らしの障がいの方</li> </ul> <p>※対象は前年度所得税が非課税の世帯です</p>  <p><b>【現状】</b> 高齢化の進展により、高齢者宅内の玄関先から道路までの自宅周りの除雪を自力で行うことが困難に感じる世帯が増加している。 本市では、一定の要件を満たした高齢者宅の生活経路の確保等のための除雪を事業者に依頼した場合、その経費の一部を助成している。 また、市社会福祉協議会では、ケアネット事業を展開し、地域のささえあいの取組の中で高齢者宅の除雪を含めた支援を実施してきた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雪時には、事業者が道路除雪等への対応に追われていることが多く、臨機の対応が難しいことが多い。</li> <li>・また、高齢者の増加により、ケアネット事業では対応が追いつかなくなってきたり、ケアネット事業を担ってきた方々自身も高齢化してきている。</li> </ul> <p>そこで、地域や学生などを巻き込んだ、高齢者宅への除雪支援体制の構築について提案してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会</li> <li>・射水市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会</li> <li>・民生委員児童委員</li> </ul>	地域福祉課	0766-51-6625	<a href="mailto:chiiki@city.imizu.lg.jp">chiiki@city.imizu.lg.jp</a>
6	3D都市モデルを使ったコンテンツ作成	 <p>PLATEAU by MLIT</p> <p>国土交通省は、PLATEAU（プラトー）というプロジェクトで、3D都市モデルを使った都市デジタルツインの実現を目指す取組を実施しており、その中で、射水市の3D都市モデル（建築物LOD1）も令和7年4月から公開される予定です。 そこで、射水市の3D都市モデルを活用し、地域に親しみを持ったり、地域の未来像を描いたり、防災に役立てたりできるようなコンテンツ（ゲームなど）を作成することで、3D都市モデルの活用方法を提案してください。</p>		都市計画課	0766-51-6680	<a href="mailto:toshi@city.imizu.lg.jp">toshi@city.imizu.lg.jp</a>

## 令和7年度いみず学生アイデアコンテスト 課題一覧

### ①地域課題枠

No.	課題	課題の概要	関係機関、関係者等	担当課	連絡先(電話番号)	連絡先(mail)
7	<p>7.13 Beach Open! Ebie Seaside Park</p>  <p>海老江海浜公園を「未来の海辺の遊び場」に！</p> <p>射水市・河川・港湾課 Tel:0766-51-6584 Mail:kasen-kouwan.city.imizu.lg.jp</p>	<p><b>【現状】</b> 海老江海浜公園は年間約57,000人が訪れる魅力的なスポットです。市としても、この公園をより多くの人々に活用してもらい、地域の魅力を高めていきたいと考えています。 海岸であることから利用には一定の条件（富山県の許可が必要）が設けられていますが、徐々に新たな取り組みが実施されてきました。</p> <p>※これまでの利用実績        - いみずUBP(ユニバーサルビーチプロジェクト) <a href="https://www.instagram.com/imizuubp/">https://www.instagram.com/imizuubp/</a>        - ふれあいビーチフェス <a href="https://www.city.imizu.toyama.jp/event-topics/svEveDtl.aspx?servno=29437">https://www.city.imizu.toyama.jp/event-topics/svEveDtl.aspx?servno=29437</a>        - キッキンカー出店 <a href="https://www.instagram.com/p/C-CwiE5JUj7/">https://www.instagram.com/p/C-CwiE5JUj7/</a></p> <p>そこで、高等教育機関の学生の皆さんがこの場所の魅力を発信し、更なる新たな活用の可能性を探ることで、より柔軟な利活用につながるきっかけを生み出していただければと思います。</p> <p><b>【課題設定について】</b>        「地域課題」「社会課題」「行政課題」は自由に設定して下さい。        また、課題設定が難しい場合は、やりたいことから逆算し、こちらでサポートすることも可能です。        目指すのは若者がワクワクし、地域の人が誇りに思える海老江海浜公園でしかできない「海辺の遊び場」を生み出すことです。</p> <p>以下は一例ですので、予算規模等からご提案ください。</p> <p><b>(例)</b>        - マリンスポーツ（SUP）、ヨット体験などを1日集中開催し、特別なビーチ体験を行いうイベントの実施        - この公園に行けば絶対に写真を撮りたくなる、SNS映えするランドマークやアートをデザインする        - 未来に続くサステナブルな海を大切にするまちとしてゴミゼロビーチに向けた海岸ゴミ拾いのイベント、再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの実証実験</p> <p><b>【備考】</b>        海開きシーズンの7月8月にかけて、BBTテレビがイベントを企画されています。（詳細は提案者のみに公開します）        イベントを実施される場合はこの期間とコラボした方が集客が見込まれると思われます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県港湾課</li> <li>高岡土木センター</li> <li>BBTテレビ</li> <li>海老江自治会</li> </ul>	河川・港湾課	0766-51-6684	<a href="mailto:kasen-kouwan@city.imizu.lg.jp">kasen-kouwan@city.imizu.lg.jp</a>

### ②ビジネスプラン枠

新しいことへのチャレンジを目指すテーマ枠になります。

射水市を活動フィールドとして解決したい課題やテーマをご自身で設定し、その解決を目指すビジネスプランを提案してください。

(オリエンテーション説明会において学生起業家のサポート受けながら課題の発見や深堀・アイデアの発案行ったのち、ビジネスプランの作成（企画提案の作成）を行う流れとなります。)